

「友」　佐久間 剛　㈱小貫写真館　パセオヌエボつくば（茨城）

■選評

幼稚園児４人、それぞれの良い表情のピークを捉えたスクールフォトの良作です。画面構成力がたいへん優れており、見る者にリズムを感じさせる写真であるため、つい見入ってしまう魅力があります。一人ひとりの表情や動きが異なる画面としての不安定さを、背景を黒ベースにすることで引き締め、安定感を出している点も高い評価を得ました。足のぶらぶら感が子供っぽい、かわいらしさを表し、赤い靴も良いアクセントになっています。さらに、ライティング技術がとても高く、被写体にふわっとスポットライトが当たっているような見せ方によって、子供たちが空間の中から浮き出て見えるので、人の目を引きつける力も持つ秀作になっています。

■喜びの声

このたびは、栄えある富士フイルム営業写真コンテストにおいて銀賞に選出いただき、誠にありがとうございました。
毎年このコンテストを一つの目標として、日々お客様と向き合いながら撮影に取り組んでおります。
この受賞は、小貫写真館を選び足を運んでくださるお客様をはじめ、小貫代表、スタッフの皆様、そして日頃からお世話になっているプロカラーラボの皆様など、多くの方々のお力添えあってこそのものです。
心より感謝申し上げます。
受賞作品の「友」は、小学校への入学を控えた４人の男の子たちの卒園写真です。
撮影当日は、元気いっぱいでパワフルな子どもたちに圧倒されながらも、友達と過ごすありのままの姿を形に残したいという思いで撮影させていただきました。
元気な子どもたちの卒園・卒業写真という明るい表現の写真が多い中、今回はあえて暗い背景ライティングを選びました。
かけがえのない友達同士の表情や存在感、この瞬間のつながりをより印象的に表現したいと感じたからです。
これから入学し、環境や関わり方は少しずつ変わっていくかもしれません。
この写真を見返したときに、卒園を迎えた気持ちや、友達と過ごした楽しい時間、そして撮影の思い出がよみがえる一枚になってくれたらうれしく思います。
これからも、お客様にとって未来にも越えていける写真を目指して撮影していきます。
ありがとうございました。
（制作ラボ：㈱プロカラーラボ　イーストラボ）





「この服はわたしのお気に入り」
岩崎雄也　まつむらフォトスタジオ（神奈川）

■選評

この子の普段通りの表情を最大限引き出して、素直に画面に写し込んだ子供写真の良作です。カメラマンは「技術論よりも被写体を可愛らしく撮る」ことにフォーカスしたのでしょう。シンプルなライティングと構図でストレートに撮影したからこそ、誰もが「かわいい！」と口に出してしまうほど、心ときめかせる作品になりました。さらに、この子の肌の柔らかさや自然なほほ笑みを撮るため、柔らかな光を上手に回しており、ライティング技術の確かさと、子供をリラックスさせるコミュニケーション力も高いことが分かります。顔に修正は若干入っていますが、やり過ぎていないところも高評価でした。シンプルながら、技術力の高さを感じさせる作品です。

■喜びの声

このたびは、栄誉ある富士フイルム営業写真コンテストにて銀賞を賜り、誠にありがとうございます。驚きとうれしさで胸がいっぱいになりました。そして同時に、これまで支えてくださった皆様への感謝の想いが溢れてきました。日々、多くの皆様に支えられて、今この瞬間があることをあらためて実感し、心より感謝申し上げます。
この作品は２歳のバースデーフォトとしてお撮りさせていただいた写真です。シンプルながらもかわいらしく愛らしい素敵な笑顔が輝くお気に入りの一枚でした。
この笑顔には、私自身、深い思い入れがありました。さかのぼること１年前。１歳のバースデーフォトの撮影でこちらのご家族に初めて出会いました。お母様とお父様の雰囲気がとても柔らかく、優しさと愛情に満ち溢れたご家族でした。まさに理想的な家族という言葉がぴったりのご様子で、ファインダー越しに私まで温かな気持ちになったことを覚えています。
そんな中、お子様は初めてのスタジオということもあり、ご機嫌が優れず大泣きの撮影となりました。
私の撮影テーマは「喜怒哀楽」です。
笑顔はもちろん、泣き顔や怒った顔、寝顔まで、その子のその瞬間にしかない表情は大切な宝物です。その年齢で感じる、ありのままの感情を素直に、そしてすてきに表現することを心掛けています。
１歳の撮影では、泣き顔もかわいらしく撮影することができましたが、「喜」の表情には出会えず、２歳の撮影までのお楽しみとなりました。そして今回、このチャーミングな笑顔に出会うことができました！
この１年のご成長を感じ、それと同時にご両親のたくさんの愛情を受け、温かな日々を過ごしてきたことを想像して胸が熱くなりました。また、好きな洋服もあるなど、少しずつ自分の気持ちを表現するようになった姿も印象的でした。そこで今回は、本人の気持ちを大切に、レンタル衣装ではなくお気に入りの服で撮影することにしました。そうして生まれた一枚が、今回の作品です。
次の撮影ではどんな感情に出会えるか。今からとても楽しみにしています。
今回の受賞を励みに、これからもお客様にとってかけがえのない宝物となるような写真を目指し、日々精進してまいります。

最後になりますが、いつも背中を押してくれる妻、家族のみんな、スタッフの皆様、そして営業写真の神髄を教えてくださっている弊社代表の松村賢浩にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。
（制作ラボ：㈱サトック　小山事業所）





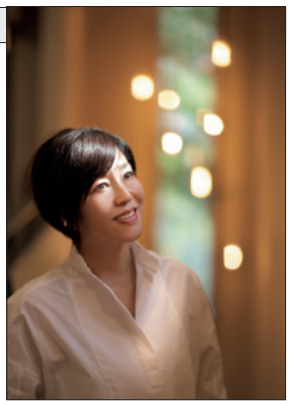
「少女」　大井景子　フォトグラフィックオオイ（神奈川）

■選評

品の良い古典柄の着物をまとった姿を、真に美しく撮影した七五三写真の優秀作です。子供の弾けるような笑顔も良いですが、このように和服を完璧に着付けて「お嬢様」と呼びたくなるような作品をお客様に提供することも写真館らしさではないか、そう思わせてくれました。正しい着付けはもとより、袖の紫色で品格を醸し出し、裾の流れ方も美しく、また、少女に手まりを持たせ、遊びながらふと振り返ったポーズを自然に引き出すなど、細部にまで気配りを怠らないカメラマンの姿勢が見て取れます。背景の柔らかな桃色も空間に調和し、より画面の美しさを引き立てています。技術力の高い写真館でしか撮ることのかなわない珠玉の１作といえるでしょう。

■喜びの声

栄誉ある富士フイルム営業写真コンテストで銀賞に選出いただき、心よりうれしく感謝申し上げます。
同コンテストでの入賞は常に憧れで目標としていることですが、１年間の成績表をいただいたような気持ちでおります。ありがとうございます。
また、常に惜しみないご指導やたくさんの刺激をくださる全国の先生、諸先輩方、美しいプリントに仕上げてくださるプロカラーラボの皆様に御礼申し上げます。
お子様のお写真は、かぎられた時間の中でなるべくナチュラルに、ほんの少しの気を入れてあげたいと考えております。
この作品では、ふと下を向いた時の表情がなんともかわいらしく子供らしさを感じ、少女の持つ雰囲気を素直に撮らせていただきました。
日々の撮影は、私の先生であり同志でもある夫と共に感じ、知恵を結集し、表現する、大切で楽しい時間です。
そんな機会を与えてくださるお客様に感謝し、これからも宝物と思っていただけるような１枚を残せるよう、クリアな気持ちで精進していきたいと思います。
ありがとうございました。
（制作ラボ：㈱プロカラーラボ　イーストラボ）





「オレたち、仲間だもんナ！」　浅野尚崇　㈱浅野写真館（愛知）

■選評

群像写真ではまず選ばないワイドレンズをあえて使って撮影した、チームの一体感がダイレクトに伝わってくる力作です。人物の配置もリズミカルで秀逸、子供たちの視線誘導も巧みで、つまりコミュニケーション力も非常に優れていることが分かります。また、子供たちの顔の大きさに違いがあるところが画面上、良いアクセントになっています。一人ひとりを配置し、ポージングを付けている間に表情の鮮度が落ちていくことがありますが、この写真では全員が新鮮な表情で視線をこちらに向けており、卓越した絵作り力と瞬間を逃さない技術力が確かにあります。床の木目が放射線状に見えて漫画っぽくもあり、面白さと臨場感をも感じさせてくれます。

■喜びの声

このたびは栄えある富士フイルム営業写真コンテストにおいて、銀賞入賞の栄誉を賜り、誠に光栄に思っております。本当にありがとうございました。日頃より当館をご利用くださるお客様、切磋琢磨する仲間、プロカラーラボ様、そして今回撮影をご依頼いただいた皆さんには心より感謝申し上げます。

この作品は、少年野球卒団記念でご来店いただいたチームを撮影した１枚。学校での卒業アルバム撮影でも普段から関わってきたこども達。そんな関わりあるこども達と撮影者だけがスタジオにいる状態にすることで、終始、学校と同じ互いの間合いで撮影することができました。

ポージングなど具体的なアプローチはありませんでしたが、こども達が『らしく』写るために笑顔を強制せず、流れを大切にし、距離感・雰囲気を重視しました。

今までは撮ることだけで精一杯でした。この１枚にはトリカワチップスでの経験が大きく影響しています。温かいご指導、仲間たちの刺激は間違いなく自分の視座を確実に高めてくれています。感謝の念に堪えません。

そして妻の存在。撮影に集中できる環境づくりに尽力し、特に撮影に没入して細かいところへ注意を払えなくなったときにそっとサポートしてくれます。

その安心感があってこそ、二度とない最高の瞬間を撮ることができると言っても過言ではありません。

より多くの方へ感謝・感動・温もり・幸せを伝えられるよう妻共々心も技も磨いていきます。

本当にありがとうございました！

（制作ラボ：㈱プロカラーラボ）





「吉崎家三兄弟」　橘薗正恵　めぐみ写真館（鹿児島）

■選評

2人と1匹の“仲良し三兄弟”を撮っておきたいという、お客様の愛情と思いが見る者にも伝わってくる温かな家族写真です。ワンちゃんの毛色に合わせて、子供たちの服の色をコーディネートされていると思いますが、それが統一感を生み出しています。子供たちの自然な動きや表情を撮るため床に座ってもらい、低いライティングにすることで「自宅で暖炉の光に照らされているような感じ」となり、兄弟のふんわりと温かみのある雰囲気、よそ行きではない笑顔を上手に写し出しています。子供の写真では大きい子を後方にしがちですが、そうしていないところに“普段っぽさ”が醸し出され功を奏しています。優れたライティング技術が見て取れる秀作です。

■喜びの声



このたびは銀賞という素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。
この写真は、ルルちゃんを家族に迎えて三兄弟での撮影でした。
ふわっと優しいお姉ちゃん、マイペースな弟くん、二人に従順なルル。一緒に遊びながらの撮影。自由に動く三兄弟だからこそ残せた空気感。。。
ずっと見ていたい、私の大好きな1枚です。
ママが喜んでくださったこともうれしく、三兄弟には感謝しかありません。
こうやって皆様の大切な瞬間に参加させていただき撮影できることを心から幸せに思います。
最後に、私を温かく導いてくださっている福森義宏先生、いつも癒やしとパワーをくれる鹿児島ＦＰＧ、福森塾の皆様のおかげで今の私があります。
心から感謝申し上げます。
きれいなプリントを仕上げてくださるプロカラーラボ様、ご来店くださるお客様、スタッフや家族、私に関わってくださる全ての方々に感謝しながら、これからもお客様に喜んでいただける写真をお届けできるよう精進していきたいと思います。
本当にありがとうございました。
（制作ラボ：㈱プロカラーラボ　九州ラボ）